活　動	資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）		
区　分	水路	活動項目	62　水路の更新等
取　組	（附帯施設）安全施設の設置		
取組概要	水路内への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。		
ふりがな 組織名	ほんごうかんきょうほぜんいいんかい 本江環境保全委員会	ふりがな 実施場所	なんとしほんごう 南砺市本江

活動内容

役員等を中心に地区内の水路の安全性を再点検し、通学路には鉄筋網蓋、交差点付近の防護柵隙間にはチェーンを張るなど、現地を定期的にパトロールし対策を進めている。

網蓋の設計（雪が堆雪せず、子どもの足も落ちにくい鉄筋幅の選定、配力筋がズレ留めの役割を兼ねる）は役員で行い、その製作を鉄筋業者に依頼、その後の錆止め塗装、設置は直営施工（近年は業者委託）で実施し、順次対応している。鉄筋網蓋は、これまで（令和元年度）に約950mの区間に設置した。

水路パトロール

鉄筋網蓋錆止め塗

設置した網蓋

背景・経緯

当地区では、住宅団地からスクールバス停に至るまで、小さいながらも流れが速い用水路が通学路に面していたことから、農家・非農家双方からなる役員会で相談し、その区間において小学生が用水路へ転落しないよう鉄筋網蓋を設置することとなり、平成21年度から当事業での取組を始めた。

時期・回数	稲刈り後にパトロールや製作を行い、３月に設置している
参加者	11名
支払金額	毎年数万円～概ね50万円（概ね３～５千円／枚）

配慮事項

これまで、当組織、自治会等の関係者を中心に安全対策の内容を検討してきたが、令和元年に小学生や高齢者、民生委員、婦人会、児童クラブ等の地域住民が参加したワークショップを開催し、改めて危険箇所の見直しや対策工法の検討を行い、危険箇所マップを作成した。

今後は、このマップも活かし、対策を進めていくこととしている。